国連CEFACT標準準拠

コード及びコード表の管理手順

ドラフト 2021/09/28

2021年10月

国連CEFACT日本委員会

はじめに

　「国連CEFACT標準準拠：コード及びコード表の管理手順」は、国連CEFACT標準に準拠したEDIを日本国内に普及促進するために、「国連CEFACTコードDMR」「国連CEFACT準拠国内コード表の登録管理」の手続きを取りまとめたものである。

　本手続きは、国連CEFACT日本委員会の作業部会であるサプライチェーン情報基盤研究会及び標準促進委員会が共同でとりまとめ、国連CEFACT日本委員会・運営委員会の承認のもとに発行された。

2021年10月

国連CEFACT日本委員会

運営委員会　委員長　菅又久直

国連CEFACT標準準拠

コード及びコード表の管理手順

1. 国連CEFACT標準で使用するコード
2. 国連CEFACTコードDMR手続
3. 国連CEFACT標準準拠国内コード／ID表の登録管理
4. ユーザー管理のコード表／ID表の登録



図１-1　コードの登録管理に関わる組織

1. 国連CEFACT標準で使用するコード

　国連CEFACT標準で使用されるコード表には、コードの発行・保守を行うコード管理機関により次の3つに分類される。なお、コード管理機関コードはコード表ID: 3055に登録され、国連CEFACTより発行されている。

* 1. ISOコード表

ISO標準として規定されており、担当する技術委員会（TC: Technical Committee）がISOの標準手続に従って発行する。コード管理機関コードは「5」が割り当てられている。

例：

通貨コード　 （コード表ID: 4217 3A）

国名コード （コード表ID: 3166-1 2A）

言語コード （コード表ID: 639-1 2A）

* 1. UNECEコード表

国連CEFACTで登録管理を行うコード表で、国連CEFACTが定めるコード管理手続に則って発行される。当該管理手続は「（２）国連CEFACTコードDMR手続」に記載されている。コード管理機関コードは「6」が割り当てられている。

例：

文書種別コード （コード表ID: 1001）

メッセージ機能コード （コード表ID: 1225）

アクションコード （コード表ID: 1229）

価格タイプコード （コード表ID: 5375）

税タイプコード （コード表ID: 5153）

単位コード （コード表ID: 6411）

日時フォーマットコード （コード表ID: 2379）

支払手段コード （コード表ID: 4439）

* 1. 特定コード管理機関が発行するコード表

ISOとUNECE以外でコード管理機関コード（コード表ID: 3055）に登録されている機関（GS1, SWIFT, 日本国税庁、JASTPROなど）により発行されるコード表。国連CEFACT日本委員会（JEC）は、コード表ID: 3055に登録されたコード管理機関の一つであり、コード管理機関コードは「413」が割り当てられている。JECが管理するコード表への登録管理手続は「（３）国連CEFACT標準準拠国内コード表の登録管理」に規定されている。

1. 国連CEFACTコードDMR手続

　国連CEFACTが管理するコード表への追加・変更要求は、国連CEFACTが定めるDMR（Directory Maintenance Request）フォーム（表１）に必要事項を記載し、国連CEFACT日本委員会・標準促進委員会（JUS）に提出する。JUSでは、受領したDMRの記載事項を審査の上、次回国連CEFACTフォーラムの8週間前までに国連CEFACTの事務局へ提出する。提出されたDMRは国連CEFACTの手続きにより審議され、承認されたDMRは次回のEDIFACTディレクトリ・コード表（UNCL）に反映される。

### **New Code Request / Code Change Request　（表1）**

|  |  |
| --- | --- |
| **UN LOG:** |  |
| **UN DATE :** |  |
| **Requester (\*):** |  |
| **EP LOG :** |  |
| **EP DATE :** |  |
| **User ref (\*):** |  |
| **User date:** |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **Originator (\*):** |  |
| **Company (\*):** |  |
| **Address:** |  |
| **Email (\*):** |  |
| **Phone**  **+country code:** |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **Code Name (\*):** |  |
| **Code TAG (\*):** |  |
| **Action (\*):** |  |
| **Code definition (\*):** |  |
| **Code Note:** |  |
| **Based on data element (\*):** |  |
| **Based on composite:** |  |
| **Based on segment:** |  |
| **Based on message (\*):** |  |
| **Based on Directory:** |  |
| **Target Directory:** |  |
| **Code category (\*):** |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **Business**  **Need/justification (\*) :** |  |

* (\*) Mandatory fields
* **Guidance on filling in DMR forms**
* Example: New Code Request / Code Change

|  |  |
| --- | --- |
| UN Log: (Assigned by UN) | DMRの国連CEFACTログ番号。  **(e.g. UN-21-0011)** |
| UN Date: (Assigned by UN) | 国連CEFACTがログした日付。  **(e.g. 1999-01-03)** |
| Requester: **(Assigned by Requester)** | DMR要求者のドメイン名。  (e.g.SCM&P ) |
| EP Log: (Assigned by ‘Entry Point’) | JECが附番するログ番号。  (e.g. JP-01000) |
| EP Date: (Assigned by ‘Entry Point’) | JECがログした日付。  (e.g. 2021-08-06) |
| User ref: **(Assigned by Requester)** | DMR提出者が決める参照番号。  **(e.g. JPS2100099)** |
| User date: **(Assigned by Requester)** | DMR提出日。  (e.g. 1999-03-22) |
| Originator: **(Assigned by Requester)** | DMR提出者名。 |
| Company: **(Assigned by Requester)** | DMR提出組織／企業名。 |
| Address: **(Assigned by Requester)** | DMR提出者の住所。 |
| Email: **(Assigned by Requester)** | DMR提出者のEメール。 |
| Phone + Country code  **(Assigned by Requester)** | DMR提出者の電話番号。 |
| Code Name:  **(Assigned by Requester)** | コード変更要求の場合はコード名を指定。  (e.g. Recommended maintenance quantity) |
| Code TAG:  **(Assigned by Requester)** | コード値（3桁の数値）。  (e.g. ABC) |
| Action | Add（追加）かChange（変更）か指定。  **(e.g. Add)** |
| Code definition:  **(Assigned by Requester)** | コード定義の記述。  (e.g. Recommended quantity of an article which is required to meet an agreed level of maintenance.) |
| Based on data element:  **(Assigned by Requester)** | コードが使われるデータ要素番号。  **(e.g. 3035 Party qualifier)** |
| Based on composite:  **(Assigned by Requester)** | コードが使われる複合データ要素（EDIFACT限定）。  (e.g. C819 Address usage) |
| Based on segment:  **(Assigned by Requester)** | コードが使われるセグメント（EDIFACT限定）。  (e.g. NAD Name and Address) |
| Based on message:  **(Assigned by Requester)** | コードが使われるメッセージ。  (e.g. INFENT Enterprise accounting information message) |
| Based on Directory:  **(Assigned by Requester)** | DMR提案のベースであるデイレクトリ。  (e.g. D21A) |
| Target Directory:  **(Assigned by Requester)** | DMRを反映させたいディレクトリ。  **(e.g. D21B)** |
| Code Category:  **(Assigned by Requester)** | コードの分類。  1 – EDIFACTサービスコード  2 – EDIFACTコード表  3 –UN/ECEに認められた国際機関のコード表  4 – その他のコード表 |
| Business Need/justification  **(Assigned by Requester)** | コードDMRのビジネスニーズ。 |

（３）国連CEFACT標準準拠国内コード／ID表の登録管理

　国連CEFACT共通辞書（CCL: Core Component Library）に登録されている基本ビジネス情報項目（BBIE: Basic Business Information Entity）のコードデータ型またはIDデータ型を実装して使用するときには、索引するコード表またはID表が決められている必要があります。索引で使用するコード表またはID表については、CCLの修飾データ型ID（Qualified Data Type ID）が指定されている場合は、該当するISOコード表またはUNECEコード表を使用しなければならない。

　CCLの修飾データ型IDが指定されていないコードデータ型またはIDデータ型は、EDIを実装する当事者同士またはグループ（企業グループや業界団体）で対応するコード表やID表を定義することができる。

　ただし、業界に横断的に使われ、国内で統一化することが望ましいコード表やID表は、国連CEFACTのコード管理機関の一つとして認知されている（管理機関コード「413」）国連CEFACT日本委員会（JEC）で統一管理することとする。

（３－１）JECへのコード／ID表の登録

　国内で統一的に使用したいコード表またはID表は、**[表2]**の様式で必要事項を記載し、JEC標準促進委員会へ提案する。JEC標準促進委員会は、申請コード表またはID表につき以下の観点から妥当性を評価し、JECサプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）が管理するレジストリに登録する。

1. 申請書の記載が正しいか。
2. 対象情報項目（BIE）は明確か。
3. 業務ニーズが明確か（使用メッセージがあるか）。
4. CCLの修飾データ型に指定されたコード表またはID表が存在しないか。
5. 他のコード管理機関のコード表またはID表と競合しないか。

🡺類似のコード／ID表がある場合、既存のコード／ID表の拡張も検討する。

1. 同一情報項目に対するコード表またはID表が競合しないか。

🡺類似のコード／ID表がある場合、既存のコード／ID表との合成も検討する。

1. 他のEDIグループとの調整は必要ないか。

（注）留意すべき他のコード管理機関

ISO

UNECE

GS1

SWIFT

日本税関

NACCS

日本自動車工業会（JAMA）

JASTPRO

帝国データバンク（TDB）

国税庁

**[表２]コード表及びID表の登録申請書**



＜記入要領＞



（３－２）コード／ID表の値の登録申請

既に登録済のコード／ID表のコード値またはID値の追加・変更・削除は、**[表3]**の様式で必要事項を記載し、事務局（SIPS）へ申請する。事務局（SIPS）は、申請コード値またはID値につき以下の観点から妥当性を評価し、JECサプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）が管理するレジストリに登録する。

1. 申請書の記載が正しいか。
2. コード値／ID値がコード表／ID表の定義範囲のものか。
3. 業務ニーズが明確か。
4. 追加の場合、コード値／ID値が重複しないか。
5. 変更／削除の場合、既存のコード値／ID値を利用しているユーザーに不都合が生じないことを確認しているか。

**[表3]コード値／ID値の登録申請書**







（４）ユーザー管理のコード表／ID表の登録

　EDIを実装する当事者同士またはグループ（企業グループや業界団体）により対応するコード表やID表を定義しすることができる。その場合の独自コード表やID表をグループ外にも見える化したい場合、国連CEFACT日本委員会（国連CEFACTコード管理機関コード：3055=413）が管理する業界区分コード表（コード表ID：JEC001）にコード／ID表管理機関として登録した上で、コード／ID表の登録を行う。

（４－１）業界区分コード（ドメインID）の登録

公開したいコード／ID表を登録したい管理機関は、業界区分コード（ドメインID）の登録を行った上で、コード／ID表の登録申請を事務局に提出する。

事務局（SIPS）は、申請書**[表4]**の事務的チェックを行った後、次の様式で業界区分コード（ドメインID）を附番する。



**[表4]ドメイン登録申請書**



国連CEFACT日本委員会の業界区分コード表（JEC001）に登録されているコードは次の通り。（2021年10月現在）

JPSBASE 業界横断EDI基本

JPSLGPC 自治体消耗品購買

JPSSMED 中小企業共通EDI

JPSFEDI 金融EDI（支払通知）

JPSSCDL スケジューリングSCM

JPSTEDI 貿易手続円滑化

（４－２）コード表／ID表の登録

　ドメイン（業界、業務領域、ユーザーグループ等）で統一的に使用し、公開したいコード表またはID表は、**[表5]**の様式で必要事項を記載し、事務局（SIPS）へ申請する。事務局（SIPS）は、申請コード表またはID表を以下の観点から妥当性を評価し、JECサプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）が管理するレジストリに登録する。

1. 申請書の記載が正しいか。
2. 対象情報項目（BIE）は明確か。
3. 業務ニーズが明確か（使用メッセージがあるか）。
4. CCLの修飾データ型に指定されたコード表またはID表が存在しないか。

**[表5] ユーザー管理コード表／ID表の登録**





（４－３）コード値／ID値の登録

既に登録済のコード／ID表のコード値またはID値の追加・変更・削除は、**[表6]**の様式で必要事項を記載し、事務局（SIPS）へ申請する。事務局（SIPS）は、申請コード値またはID値につき以下の観点から妥当性を評価し、JECサプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）が管理するレジストリに登録する。

なお、ユーザー管理のコード／ID表の場合、コード／ID表のみを登録し、コード値／ID値はコード／ID表管理者が独自に管理（公開、配布、追加・変更・削除）することも可能とする。

1. 申請書の記載が正しいか。
2. コード値／ID値がコード表／ID表の定義範囲のものか。
3. 業務ニーズが明確か。
4. 追加の場合、コード値／ID値が重複しないか。
5. 変更／削除の場合、既存のコード値／ID値を利用しているユーザーに不都合が生じないことを確認しているか。

**[表6] ユーザー管理コード／ID値の登録**







**＜補足＞個別企業が管理するIDについて**

企業が独自に規定するIDは、EDI導入時に取引当事者間で取り決める。

独自のIDとしては、次のような情報項目がある。

* 取引企業が独自に決めた企業コード
* 発注番号／受注番号
* 発注者／受注者商品コード
* 出荷ID
* 請求書ID

**（別表―１）登録ドメイン（2021年8月現在）**

ドメインID：JPSBASE

ドメイン名称：業界横断EDI基本

ドメイン管理者：一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）

説明：業界横断EDIの基本となるメッセージで、各業務領域メッセージ設計にお

ける参照モデルとして利用する。

ドメインID：JPSLGPC

ドメイン名称：自治体消耗品購買

ドメイン管理者：小島プレス工業株式会社

説明：豊田市役所一般購買のEDI実証実験で定義。

ドメインID：JPSSMED

ドメイン名称：中小企業共通EDI

ドメイン管理者：特定非営利活動法人ITコーディネータ協会（ITCA）

説明：中小企業共通EDI標準であり、基本、製造業、商社購買およびプロジェク

ト取引を含む。

ドメインID：JPSFEDI

ドメイン名称：金融EDI（金流商流情報連携用）

ドメイン管理者：一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）

説明：金流商流情報連携で使われる金融関連メッセージ（銀行ネットワークと直

結する振込依頼や入出金明細などは含まない）。

ドメインID：JPSSCDL

ドメイン名称：スケジューリングSCM

ドメイン管理者：一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）

説明：需要予測／納入指示の組み合わせによるジャストインタイム方式EDI。

ドメインID：JPSTEDI

ドメイン名称：貿易手続円滑化

ドメイン管理者：一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）

説明：貿易手続関連EDI。

**（別表―２）JEC管理コード（2021年8月現在）**

コード表ID：JEC001

コード表名：業界区分コード

コード登録申請者：一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）

説明：ドメインIDの一覧表。

CI\_ Exchanged Document\_ Context. Subset\_ Specified. CI\_ Document Context\_

Parameterで使用。

コード表ID：JEC002

コード表名：プロセスタイプ区分コード

コード登録申請者：一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）

説明：業界横断EDIデータ区分。

CI\_ Exchanged Document\_ Context. Business Process\_ Specified. CI\_ Document

Context\_ Parameterで使用。

コード表ID：JEC003

コード表名：金額相殺理由コード

コード登録申請者：一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）

説明：金額を相殺する理由を指定。

CIRH\_ Specified\_ Balance Out. Reason. Codeで使用。